【太田市】
端末整備・更新計画

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度
① 児童生徒数	17,459 人	17,317 人	16,991 人	16,616 人	16,358 人
② 予備機を含む 整備上限台数	20,077 台	19,914 台	19,539 台	19,108 台	18,811 台
③ 整備台数 (予備機除く)	—	11,378 台	5,613 台	—	—
④ ③のうち 基金事業によるもの	—	11,378 台	5,613 台	—	—
⑤ 累積更新率	—	65.7%	100%	—	—
⑥ 予備機整備台数	—	962 台	0 台	—	—
⑦ ⑥のうち 基金事業によるもの	—	962 台	—	—	—
⑧ 予備機整備率	—	8.4%	—	—	—

(端末の整備・更新計画の考え方)

令和 2 年度購入により、市内小学校・中学校・義務教育学校、計 41 校に整備。

令和 7 年度に小学校 4,5,6 年生、中学校 1,2,3 年生、義務教育学校前期課程 4,5,6 年生、義務教育学校後期課程 1,2,3 年生を購入により更新予定。

令和 8 年度に小学校 1,2,3 年生、義務教育学校前期課程 1,2,3 年生を購入により更新予定。

現行機は予備機、指導者用端末で活用、市立高校・公共施設等での再利用、小型家電リサイクル法の認定事業者にも再資源化の委託を行う。

(更新対象端末のリユース、リサイクル、処分について)

○対象台数：19,605 台

○処分方法

- ・使用済端末を公共施設など地域で再利用：3,300 台
- ・小型家電リサイクル法の認定事業者にも再使用・再資源化を委託：10,305 台
- ・小学校、中学校、義務教育学校で予備機、指導者用端末として活用：3,000 台
- ・その他：3,000 台

○端末のデータの消去方法 ※いずれかに○を付ける。

- ・再利用分については ICT 保守事業者にて行う
- ・再資源化分については処分業者へ委託する

○スケジュール (予定)

令和 8 年 4 月 新規購入端末の使用開始

令和 8 年度以降 処分事業者 選定

令和 8 年度以降 使用済端末の事業者への引き渡し

○その他特記事項

現行機は GIGA2 期においても故障時の予備機として重要な役割を持つ。令和 7 年度以降に見込まれる経年劣化による故障率増加の推移を踏まえ、処分せずに予備機、指導者用端末として残す台数を見極める事が重要である。そのため、処分事業者選定は令和 8 年度以降とし、令和 7 年 3 月現在時点では再利用や処分の台数は確定ではないものとする。